

# 教員プロフィール(看護学専攻)

氏名	二塚 信 教授 (学長、研究科長)
大学院 担当科目	国際保健学特論、国際保健学演習、国際保健学研究、がん病態生理学、地域看護学特論
略歴	昭和 39 年 03 月 熊本大学医学部卒業 昭和 44 年 03 月 熊本大学大学院医学研究科修了(医学博士) 昭和 44 年 04 月 熊本大学医学部助手 昭和 48 年 08 月 熊本大学医学部講師 昭和 52 年 02 月 熊本大学医学部助教授 昭和 62 年 04 月 熊本大学医学部教授 平成 17 年 03 月 熊本大学定年退職(名誉教授) 平成 17 年 04 月 九州看護福祉大学学長 平成 17 年 04 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻指導教員
専門分野	公衆衛生学
主な著書 学術論文	< 著書 > 編著 手腕振動障害 - その疫学・病態から予防まで - 労働科学研究所出版部.2004 編著 高齢社会どう変わる.どう生きる.九大出版会.2003 共著 Understanding of Minamata disease. Public Health Association.2001  < 学術論文 > Long-tern follow-up study of health status in population living in methylmercury polluted area.Environ.Sciences12(5)239-282.2005 Hand arm vibration syndrome among quarry workers in Vietnam.JOH. 47(2)165-170.2005

氏名	志賀 潔 教授 (副学長、看護学専攻長)
大学院 担当科目	看護病態機能学特論
略歴	昭和 42 年 03 月 大阪大学医学部卒業 昭和 43 年 09 月 医師免許取得 昭和 45 年 05 月 大阪大学医学部助手(生理学) 昭和 48 年 01 月 医学博士(大阪大学) 昭和 52 年 12 月 生物科学総合研究機構生理学研究所助教授(超微小形態生理学) 昭和 59 年 05 月 熊本大学医学部教授(生理学) 平成 16 年 04 月 熊本大学医学部長・同大学院医学教育部長 平成 19 年 04 月 九州看護福祉大学副学長 平成 19 年 04 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻指導教員 平成 21 年 04 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻長
専門分野	分子生理学
主な著書 学術論文	< 著書 > 共著 D-Amino acids:A new frontier in amino acid and protein research practical methods and protocols [Resonance Raman study on charge-transfer complexes of porcine D-amino acid oxidase. (535-543).2006]. Nova Science Publishers  < 学術論文 > Theoretical study on charge-transfer interaction between acy-CoA dehydrogenase and 3-thiaacyl-CoA using densityfunctional method. Journal of Biochemistry.139(5),847-855,2006 Hydrogen-bonding dynamics of free flavins in benzene and FAD in electron-transferring flavoprotein upon excitation.Journal of Photochemistry&Photobiology.B Biology.70(2),67-73,2003 A blue-light-activated adenyl cyclase mediates photoavoidance in Euglena gracilis.Nature.415(6875),1047-51,2002.

氏名	阿蘇品 スミ子 特任教授
大学院 担当科目	看護倫理、がん病態生理学、がん看護学援助論、がん疼痛看護・緩和ケア学、がんターミナル看護学、がん看護学観照研究、がん看護学実習、がん看護学演習、がん看護学研究、精神保健看護論(精神保健学専攻)
略歴	昭和 34 年 03 月 国立筑紫病院附属看護学院卒業 昭和 34 年 04 月 国立湯田療養所 昭和 48 年 11 月 久留米大学医学部看護専門学校 平成 02 年 04 月 久留米大学病院 副看護部長 平成 06 年 04 月 久留米大学医学部看護学科助教授 平成 10 年 04 月 同大学教授 平成 14 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科教授 平成 15 年 04 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻指導教員 平成 15 年 09 月 東亜大学大学院総合学術研究科修了(修士) 平成 16 年 04 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻教授 平成 19 年 04 月 九州看護福祉大学特任教授
専門分野	がん看護学、がんターミナル看護学
主な著書 学術論文	< 著書 > 共著 看護実践における看護の看取りと語り ハンセン病 薬害問題 プロジェクト 作為・不作為へ 本の泉社 p89-102 2007 単著 終末期の看護 共に生きるための医療 九州大学出版会 p83-102 2002 単著 初心者も活用できる「がん医療・がん看護」集学的治療・全人的ケアをめざして 南山堂 2004  < 学術論文 > がん告知に対する夫婦の認識 九州看護福祉大学紀要 Vol.7 p25-33 2005 患者の自己表出変化把握と家族のグリーフケアへのアプローチ ~あるがん末期患者の事例を手掛かりにして~ 東亜大学大学院人間科学研究論文集 第3巻 p67-72 2003

氏名	石原 和子 特任教授
大学院 担当科目	がん病態生理学、がん看護学理論、がん看護学援助論、がんリハビリテーション看護学、がん看護学観照研究、がん看護学実習、がん看護学演習、がん看護学研究
略歴	昭和 36 年 3 月 長崎大学医学部附属看護学校卒業 昭和 39 年 - 国立がんセンター中央病院在職(平成 8 年 3 月まで) 昭和 51 年 英国(ロイヤル・マルズデン病院腫瘍看護コース)留学 平成 8 年 4 月 長崎大学医療技術短期大学看護学科教授(成人看護学) 平成 11 年 医学博士(長崎大学医博乙第 1532 号) 平成 13 年 10 月 長崎大学医学部保健学科看護学専攻教授(臨床看護学講座) 平成 16 年 4 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科教授 平成 16 年 4 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻教授 平成 16 年 4 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻指導教員 平成 19 年 4 月 九州看護福祉大学特任教授
専門分野	成人看護学、がん看護学
主な著書 学術論文	< 著書 > がん患者の説明で看護師に求められる姿勢と役割、日総研出版 Nurse Data、2005 共著 がん看護学、看護マネージメントセクシュアリティとボディイメージ、三輪書店、1998 共著 がん専門看護 知識/技術/看護診断/教育ポイント、QOL と看護、日本看護協会出版会、1996  < 学術論文 > (原著)精神科治療領域におけるインフォームド・コンセントに関する熟練看護師の実践的知識:日本保健福祉学会誌、Vol16 (2) p1-11、2010 アルコール依存症者の断酒会参加の意味に関する研究:インターナショナル nursing care research Vol.8.No4.2009 高齢オストメイトの支援に関する研究、九州看護福祉大学紀要、2005 Long-Term Quality of Life in Patients after Total Gastrectomy: CANCER NURSINGVol.2(3) 1999

氏名	梶原 和子 教授
大学院 担当科目	小児看護学特論、小児看護学演習
略歴	昭和 44 年 03 月 社会保険鞍馬口病院附属高等看護学校卒業 昭和 44 年 04 月 京都大学医学部附属病院勤務 (7 年間看護師として勤務) 昭和 46 年 01 月 熊本大学医学部附属病院出向 5 年間小児科勤務 昭和 52 年 03 月 熊本県立公衆衛生看護学院卒業 昭和 52 年 04 月 熊本市立熊本市市民病院勤務(18 年間助産師として勤務) (その間日本大学法学部法律学科卒業...高校社会教員資格) 昭和 62 年 04 月 熊本市東部保健センター勤務(3 年間保健師として勤務) 平成 02 年 04 月 熊本市立熊本市市民病院勤務 平成 10 年 04 月 熊本市立熊本市市民病院(看護部長) (その間熊本大学大学院法律研究科修了...法学修士) 平成 16 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科教授 平成 19 年 03 月 熊本学園大学社会福祉学研究所後期博士課程修了 平成 20 年 09 月 社会福祉学博士
専門分野	小児看護学
主な著書 学術論文	< 著書 > 共著 『脳梗塞看護マニュアル』 社会福祉資源の活用 .メディカ出版 .1999 < 学術論文 > 「産後 3 - 4 ヶ月における Bonding と子育てサポートとの関連」 アンケート調査による分析から .熊本学園大学 社会関係研究 12(1) . 57 - 78 . 2007 「わが国における児童虐待防止体制の現状と課題」 裁判例を通して .九州看護福祉大学紀要 7(1) . 15 - 24 . 2005 子ども虐待における看護職の新しい役割開発に関する研究 熊本学園大学 社会関係研究 14(1).147 - 150 . 2009

氏名	柴田 恵子 教授
大学院 担当科目	基礎看護学特論、基礎看護学演習、基礎看護学研究
略歴	昭和 58 年 03 月 熊本大学医療技術短期大学部卒業 昭和 59 年 03 月 熊本大学看護教諭特別科修了 昭和 63 年 04 月 銀杏学園短期大学看護科助手 平成 02 年 03 月 佛教大学社会学部社会福祉学科卒業 平成 09 年 03 月 熊本大学大学院法学研究科法律学専攻修士課程修了(法学修士) 平成 09 年 04 月 財団法人九州看護福祉大学設立準備財団職員 平成 10 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科専任講師 平成 14 年 04 月 同大学助教授 平成 15 年 03 月 熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科アドミニストレーション博士専攻修了(アドミニストレーション博士) 平成 19 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科教授 平成 22 年 04 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻指導教員
専門分野	看護の機能と役割。看護基礎教育の教育方法。看護活動における倫理。看護学の基礎について論考し構築することを探求中である
主な著書 学術論文	< 著書 > ケア学の行方 - J. Rawls の「正義論」を手掛かりに - .自由と正義の法理念 - 三島淑臣 教授古希祝賀 .成文堂 .平成 15 年 < 学術論文 > 看護を基盤とする社会形成への展望 .熊本県立大学総合管理学会第 8 巻 3・4 合併号 . p.135 - p.179 .平成 14 年 患者の自律実現と看護 .九州看護福祉大学紀要 Vol.5 . p.287 - p.296 .平成 15 年 看護の本質の実現に向けて - 看護基礎教育に焦点をあてて - .九州看護福祉大学紀要 Vol.6 . p.243 - p.252 .平成 16 年 看護学実習での生命倫理の学び、「生命倫理」通巻 21 号、p.174 - p.182、平成 22 年

氏名	生野 繁子 教授
大学院 担当科目	老年看護学特論、老年看護学演習、老年看護学研究、高齢者ケアサービス論
略歴	昭和 54 年 04 月 自衛隊中央病院高等看護学院卒業(同病院にて 7 年間臨床看護師) 昭和 60 年 03 月 神奈川県立看護教育大学校看護教育学科卒業(看護教員資格) 昭和 60 年 04 月 東京都立広尾看護専門学校専任教員 昭和 63 年 04 月 別府大学短期大学部専任講師(その間佛教大学社会学部卒業) 平成 06 年 04 月 川内看護専門学校専任教員・教育主事 (その間佛教大学大学院教育学研究科修了・教育学修士) 平成 10 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科助教授 平成 15 年 04 月 同大学教授 平成 16 年 03 月 熊本県立大学大学院博士後期課程修了(アドミニストレーション博士) 平成 17 年 04 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻指導教員 平成 18 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科学科長
専門分野	老年看護学
主な著書 学術論文	< 著書 > 編著 基本から学ぶ高齢者ケア 第 3 版 金芳堂 2011 共著 「根拠がわかる在宅看護技術」 メディカルフレンド社 2009 共著 「病と看護職」生涯教育で何を学ぶか 金芳堂 2005 < 学術論文 > 単著 少子高齢社会における高齢者ケアとジェンダー 熊本県立大学アドミニストレーション研究科博士論文 2004 共著 介護保険施設における看護職の配置と実施している医療ケアに関する現状と問題点 日本看護福祉学会誌 vol. 1 . .2011 共著 家庭内高齢者虐待の具体例に対する認識の現状 - A 地域の医療施設に就業する看護職の場合 - 高齢者虐待防止研究 vol. 1 . 2011

氏名	齋田 和孝 教授
大学院 担当科目	がん病態生理学、がん看護学演習、がん看護学研究
略歴	昭和 63 年 03 月 熊本大学医学部卒業(医師免許) 昭和 63 年 06 月 熊本大学医学部付属病院第一外科 昭和 64 年 01 月 熊本市医師会熊本地域医療センター外科 平成 02 年 04 月 山鹿市立病院外科 平成 08 年 03 月 熊本大学大学院医学研究科外科系専攻修了(医学博士) 平成 08 年 04 月 植木町国民健康保険植木病院外科 平成 09 年 04 月 熊本大学大学院医学薬学研究部分子病理学分野助手 平成 19 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科准教授 平成 19 年 04 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻指導教員 平成 22 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部鍼灸スポーツ学科教授
専門分野	外科学、病理学
主な著書 学術論文	< 学術論文 > Role of ribosomal protein S19-like plasma protein in blood coagulum resorption. <i>Experimental and Molecular Pathology</i> 2011 ; <b>90</b> : 19-28 The role of the ribosomal protein S19 C-terminus in Gi protein-dependent alternative activation of p38 MAP kinase via the C5a receptor in HMC-1 cells. <i>Apoptosis</i> 2010 ; <b>15</b> : 966-981 Elastin peptide receptor-directed monocyte chemotactic polysaccharides derived from seaweed sporophyll and from infectious fungus. <i>Microbial Pathogenesis</i> 2008 ; <b>45</b> : 423-434 Agonistic and antagonistic effects of C5a-chimera bearing S19 ribosomal protein tail portion on the C5a receptor of monocytes and neutrophils, respectively. <i>Journal of Biochemistry</i> 2008 ; <b>144</b> : 371-381 Roles of leukocytosis and cysteinyl leukotriene in polymorphonuclear leukocyte-dependent plasma extravasation. <i>Journal of Leukocyte Biology</i> 2006 ; <b>80</b> : 1308-1319

氏名	樋口 マキエ 教授
大学院 担当科目	看護病態機能学特論、看護病態機能学演習、看護病態機能学研究
略歴	昭和 42 年 3 月 熊本大学薬学部卒業 昭和 42 年 4 月 熊本大学医学部助手 昭和 51 年 2 月 熊本大学(医学博士) 昭和 51 年 12 月 カリフォルニア大学医学部 Research Fellow 昭和 54 年 4 月 佐賀医科大学医学部助教授 昭和 62 年 10 月 琉球大学医学部医学科助教授 平成 11 年 4 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科教授 平成 15 年 4 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻教授 平成 15 年 4 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻指導教員 平成 19 年 4 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻長 (平成 21 年 3 月まで)
専門分野	薬理学
主な著書 学術論文	< 著書 > 共著 The Ischemic Heart . Underperfusion injury in diabetic rat hearts: Effects of norepinephrine and/or insulin on stiffness increase and abnormal energy metabolism. Kluwer Academic Publishers. P473-500 . 1998 . 共著 心筋の構造と代謝 23 巻 . 六法出版社 . 2001 共著 コメディカルのための薬理学 . 朝倉書店 . 2004  < 学術論文 > Effects of epinephrine on underperfusion-reperfusion injuries in diabetic and non-diabetic rat hearts. Molecular and Cellular Biochemistry. 248 : 157-163. 2003 麻薬性鎮痛薬使用に関する看護者の認識 WHO 方式がん疼痛治療法を基に . 九州看護福祉大学紀要 8(1) : 59-68. 2006

氏名	福本 久美子 教授
大学院 担当科目	地域看護学特論、地域看護学演習
略歴	昭和 50 年 3 月 自衛隊中央病院高等看護学院卒業(同病院にて4年間臨床看護師) 昭和 56 年 3 月 熊本県立公衆衛生看護学院卒業(保健師・助産師資格取得) 昭和 56 年 10 月 熊本県勤務(平成 19 年 4 月退職) 平成 5 年 3 月 国立公衆衛生院専攻課程卒業 平成 11 年 3 月 熊本学園大学社会福祉学部 部社会福祉学科卒業 平成 13 年 3 月 熊本学園大学大学院社会福祉学研究所修士(社会福祉学修士) 平成 19 年 5 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科 准教授 平成 20 年 3 月 熊本大学大学院医学教育部(環境生態学講座環境保健医学分野) 博士課程単位取得満期退学 平成 22 年 4 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科 教授 平成 22 年 5 月 日本公衆衛生学会認定専門家
専門分野	地域看護学、公衆衛生行政看護
主な著書 学術論文	< 著書 > 共著 あなたの町の健康づくり～みんなですずめる「健康日本21」 新企画出版 2001  < 学術論文 > 共著 A comparative study of health-promoting lifestyles in agricultural and non-agricultural workers in Japan; Environmental Health and Preventive Medicine3,2011 : 80-89 共著 Efficacy of group-based lifestyle interventions on risk factors and insulin resistance in subjects at risk metabolic syndrome : The Tabaruzaka Study , Diabetes , obesity and metabolism.2010:790-797 共著 要介護高齢者のための口腔ケアネットワークの構築、日本公衆衛生雑誌. 53(4). 277～284 . 2006 共著 健康な地域づくり(ヘルス・プロモーション)の活動効果とその推進要因、熊本学園大学社会関係研究. 9(2). 39-68. 2003

氏名	山本 恵子 教授
大学院 担当科目	老年看護学特論、老年看護学演習、老年看護学研究
略歴	平成 02 年 03 月 北里大学看護学部看護学科卒業 平成 02 年 04 月 北里大学東病院勤務 平成 07 年 03 月 東洋大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士前期課程修了(社会福祉学修士) 平成 07 年 04 月 茨城県立医療大学保健医療学部看護学科助手(附属病院兼務) 平成 12 年 04 月 聖隷クリストファー大学看護学部看護学科講師 平成 14 年 11 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科講師 平成 17 年 10 月 同大学助教授 平成 19 年 03 月 広島大学大学院保健学研究科保健学専攻博士課程後期修了(看護学博士) 平成 19 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科准教授 平成 22 年 04 月 同大学教授 平成 22 年 04 月 九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究所看護学専攻指導教員
専門分野	老年看護学、リハビリテーション看護
主な著書 学術論文	< 著書 > 共著 高齢者の健康と障害.MC メディカ出版.2006 共著 リハビリテーション看護の実践.日本看護協会出版会.2006 翻訳 高齢者アセスメントマニュアル-Handbook of Geriatric Assessment 3rd Edition-. MC メディカ出版 ; 2006 .  < 学術論文 > 山本恵子、宮腰由紀子.看護・介護の協働から生まれる転倒予防の試み - 転倒を繰り返した認知症高齢者を通して -. 日本老年看護学会誌 11(2) . 2007. 山本恵子、宮川健治、野々佳子他 . 高齢者施設における転倒予防に関する研究動向 - 職種間協働に焦点をあてた研究を中心に -. 九州看護福祉大学紀要 ; 2006 ; 8 .

氏名	久佐賀 真理 准教授
大学院 担当科目	地域看護学特論、地域看護学演習
略歴	昭和 55 年 03 月 聖路加看護大学衛生看護学部卒業 昭和 55 年 04 月 聖路加国際病院産科病棟・分娩室(昭和 56 年 1 月退職) 昭和 56 年 01 月 熊本県甲佐町役場(昭和 58 年 7 月退職) 昭和 63 年 04 月 専修学校熊本 Y M C A 学院専任講師(平成 8 年退職) 平成 10 年 03 月 熊本大学教育学研究科保健体育専攻修了(教育学修士) 平成 10 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科助手 平成 14 年 04 月 同大学講師 平成 16 年 10 月 同大学助教授 平成 19 年 04 月 同大学准教授
専門分野	公衆衛生看護学
主な著書 学術論文	< 学術論文 > 思春期の児童・生徒の自己への肯定的感情の実態とそれを支えるもの . 九州看護福祉大学紀要 . Vol.7-1.35～44.2005 若者のアルコール・薬物問題へのピア・カウンセラー活動の導入について . 日本アルコール問題関連学会雑誌 . Vol.6.95～99.2004 思春期・青年期保健への若者の参画 . 九州看護福祉大学紀要 . Vol.5-1.117～127.2003 大人との協働による思春期の居場所づくりに参加した7人のピアの変化とその要因(共著).九州看護福祉大学紀要.Vol.6-1.113～126.2004

氏名	新居 富士美 専任講師
大学院 担当科目	がん看護学演習
略歴	平成 10 年 03 月 大分医科大学医学部看護学科卒業 平成 12 年 03 月 大分医科大学大学院医学系研究科修士(看護学) 平成 12 年 04 月 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科助手 平成 15 年 04 月 同大学専任講師 平成 20 年 09 月 青森県立保健大学大学院健康科学研究科修士(健康科学)
専門分野	成人看護学
主な著書 学術論文	<学術論文> 過疎地域で在宅認知症高齢者を介護する家族の対処行動に関する研究、日本ヒューマンケア学会誌 2(1)18-30.2009 過疎地域における在宅認知症高齢者の身体拘束に関する研究、高齢者虐待防止研究 4(1)102-115.2008 消化管内視鏡検査における専門性として看護師に求められる能力、日本看護研究学会誌 29(5)103-108.2006 養護学校における医療的ケアの実施者に対する保護者の望み、看護科学研究 7(1)1-6.2006 事故報告書からみた身体拘束廃止前後の転倒・転落事故の変化、日本看護学会誌 15(1)91-101.2005